広報
かるまい4
平成27年（2015年） №673

僕たち、私たちの
保育園、児童館
さようなら！

今月の主な内容

■山内保育園閉園式、観音林児童館閉館式 …2～3
■町長・教育委員長施政方針 ……4～9
■平成27年度職員配置 ……12～13

観音林児童館・山内保育園

保育証書授与式・閉園（館）式

～最後の卒園児を送り出し、　それぞれの歴史に幕～

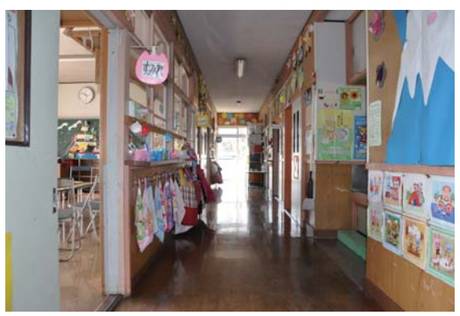
DATE
■創　立　昭和39年
■園児数　10人
■卒園児　722人

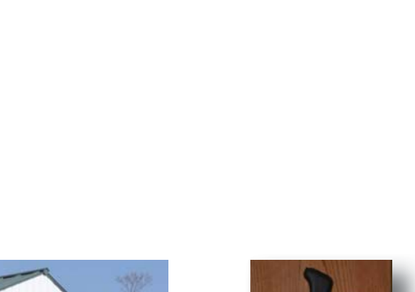
山内保育園（石川敦子園長、園児10人）の閉園式は3月18日、午前11時から同園のホールで開かれました。式典には、園児や保護者、保育士のほか、以前同園に努めた保育士ＯＧなど、約30人が参加しました。

閉園にあたり山本賢一町長は「50年以上にわたり地域の皆さまと共に歩んできた山内保育園の閉園は寂しいことではありますが、新しい晴山保育園で『未来からの贈りもの』である町の将来を担う子どもたちが元気に、心身ともにすこやかに育っていくことを心から願っています」とあいさつ。

卒園児代表あいさつでは保護者代表でもある金山美穂（ほ）さん（山口）が「在園中の思い出は、年長組の時に裸足で駆け回った運動会です。山内保育園が閉館することは寂しくもありますが、晴山保育園で新たな歴史を刻んでほしいと思います」と別れを惜しみました。

同園は昭和39年に山内保育所として開設。当時は晴山地区の2児童館も開館前だったことから、山内地区以外から通う園児もいました。51年の歴史の中で７２２人の卒園児を輩出。年少組、年中組の園児たちは、４月から晴山保育園へと進み、新たな友達と新たな生活を始めます。





山内保育園　沿革
昭和39年11月１日
　町立山内保育所として開設
昭和50年１月23日
　施設老朽化のため新築移転
平成元年４月１日
　町立山内保育園と改称
平成27年３月31日
　51年の歴史に幕を閉じる

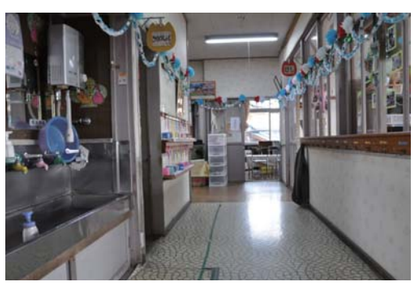
観音林児童館（安藤京子館長、園児23人）の閉館式は3月21日、午前11時から同館のホールで開かれました。式典には、園児や保護者、職員のほか、以前に同児童館で勤務した職員など、約60人が参加しました。

山本町長は閉館にあたり「皆さまとともに40年以上にわたり歩んできたこの観音林児童館で楽しい時間を過ごされた園児の皆さんや、児童館の運営を支えていただいた地域の皆様にとっては寂しいことではありますが、今後は晴山保育園で新たな歴史を刻んでいただけるものと思っています」とあいさつしました。

また、卒園児代表あいさつでは本田孝博（たかひろ）さん（観音林南）が「私の通ったこの児童館に、私の子どももお世話になりました。園児の皆さんは、４月からは晴山保育園で多くの友達と楽しく過ごしてほしいと思います」と子どもたちの新生活に期待を込めました。

園児たちは『さよなら僕たちの児童館』を歌い、思い出の詰まった児童館に別れを告げました。

同児童館は昭和45年に開館。歯科保健活動、交通安全活動、ちびっ子消防クラブの火災予防活動など、児童館・保護者・地域が一体となって様々な活動を展開。45年の歴史の中で、５８２人の卒園児を輩出しました。４月から在園児は晴山保育園へと進み、山内保育園の園児たちとともに新たな歴史を刻みます。



観音林児童館　沿革
昭和45年５月１日
　町立観音林児童館開館
平成27年３月31日
　45年の歴史に幕を閉じる

DATE
■創　立　昭和45年
■園児数　23人
■卒園児　582人

-町長施政方針-

町議会３月定例会が３月３日に開かれ、施政方針演説で山本賢一町長は「新軽米町総合発展計画の将来像である『豊かな自然の恵みと彩り、歴史と食文化の薫るにぎわいのまち』の創造に向け、町民との協働を基本としながら、いきいきと輝き、快適で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進する」と決意を述べました。本年度の主な施策、事業などについてお知らせします。

豊かな暮らしを支えるまちづくり

【公共交通対策】

バス・コミュニティバスについては、今後も交通業者、地域住民とともに知恵と工夫を出し合いながら、利用しやすい身近な交通手段となるよう取り組んでいきます。

【防災対策】

町民が災害から安全に避難するために、土砂崩壊などの危険箇所や避難場所などの災マップの作成配布、災害時要援護者システムの充実など、関係機関との連携を図りながら、緊急時に対応可能な体制づくりを進めます。

【原子力事故損害賠償】

東京電力の福島原子力発電所事故に起因する損害賠償については、県、関係市町村と一緒に、原子力損害賠償紛争解決センターへの和解あっせん申し立てをしています。

【消費者行政推進事業】

職員を積極的に研修会に参加させ、窓口対応のスキルアップを図るとともに、構成市町村が連携して二戸消費生活センターの存続と支援を継続し、皆さまが安心して暮らせるよう努めます。

【町道整備・橋梁維持】

２０１６いわて国体の競技会場へのアクセス道路の町道蓮台野勘丁線は今年度完成予定です。歩道整備は、町道下小路保育所線の整備のため、調査測量設計及び用地買収業務を進めます。

また、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕工事及び点検業務の継続、本年度に実施した道路施設等の点検調査の結果に基づく修繕を実施し、利便性の向上と交通安全確保を図ります。

【住環境・上下水道】

耐震診断や耐震改修工事の助成や住宅リフォーム奨励事業を継続し、住環境の整備を支援します。また、上下水道については、向川原地区の管路布設工事と舗装本復旧工事を進め、老朽化の著しい小軽米簡易水道施設は、国庫補助事業を導入しており、配水池の建設、送配水管の布設工事を進めます。観音林地区簡易水道及び山内地区簡易水道の施設更新計画については、２ヶ年継続事業として、適正な整備基本計画を策定します。

結いの精神のまちづくり

【行政区活動交付金等】

行政区活動交付金および地域活動支援事業費補助金は、地域の自主的・主体的活動を支援することを目的とした制度ですが、補助金については、各地域からの関心も高いことから、27年度からは、基本割額を3万円から4万円に引き上げるなど制度の見直しを図りつつ、運用します。

【ユイコのケアドー事業】

ユイコのケアドー事業については、今後とも取り組みをする行政区や地域団体の活動を支援します。

高齢者もいきいき暮らすまちづくり

【国民健康保険】

30万円以上の医療費に限られていた保険財政共同安定化事業がすべての医療費に拡大され、町においては拠出金額が交付金額を上回る見通しとなりますが、税率改正による被保険者への負担を求めず、保健指導等による医療費抑制に務めます。

【後期高齢者医療】

平成27年度も医療給付費の増加傾向が続きますが、財政安定化基金を活用し保険料率の増加を小さくして運営します。また、広報や出前講座などを活用し、よりきめ細やかな制度の周知に努めます。

【障がい者福祉】

25年度から施行された「障害者総合支援法」に基づき策定した軽米町障がい者福祉計画により、障がい者福祉サービスや補装具等の給付、相談支援体制の強化を図るなど、福祉環境の充実に努めます。

【高齢者福祉】

地域包括ケアシステム構築のため、在宅生活を支援するサービスの充実とともに、高齢者・介護者双方のニーズに対応した迅速な支援を図るため、地域包括支援センター及び地域包括支援センターブランチを窓口として、総合相談業務の強化を図ります。

【介護予防活動】

65歳以上の全町民を対象とした『暮らしと介護予防に関する調査』を実施し、その結果から対象別の介護予防教室を開催します。

好評を得ている『ふれあい共食事業』は新たに3地区増え、15地区での開催予定で、『介護予防教室』、『認知症サポーター養成講座』とともに、より多くの町民が介護予防に積極的に取り組めるよう活動を広めます。

【保健事業】

特定健診・がん検診に加え、健康相談、健康教育や訪問指導により、疾病の予防と早期発見に努めます。

予防接種事業については、定期接種を義務付けられているものに関しては全額、インフルエンザ予防ワクチンと大人の風疹予防接種は一部を公費負担で実施しています。

【自殺対策】

県の自殺対策緊急強化事業を活用し、啓発事業や家庭訪問など、個々の状況に合わせ、庁舎内外の組織、医療機関と連携しながら、町全体での自殺予防推進体制の構築に向けて取り組みます。

子育て支援日本一のまちづくり

【地域子育て支援事業】

軽米児童クラブの対象児童を小学3年生以下から6年生以下に拡大し、開設時間の延長や、小軽米・晴山小学校からの同クラブへの送迎事業も継続して行い、共働き世帯の支援や放課後児童の安全確保に努めます。

【母子保健事業】

妊産婦の心身の健康づくりや安心して子育てができる環境を整えるため、訪問・健診・教室を実施し、子ども子育て制度による地域子育て支援事業に併せて、育児支援体制の一層の充実を図ります。

【保育園等】

４月１日から開園する晴山保育園では、へき地保育園、児童館では受け入れができなかった０歳からの受け入れが可能となり、町外で就労する保護者にも順次利用していただける施設を目指します。

【子育て支援（医療費助成）】

４月１日より、医療費受給対象者を、現在の15歳から18歳までに拡大し、対象医療機関の制限を撤廃、次代を担う子どもたちを健やかに育てられるよう、支援を拡充します。

【学校関係】

軽米小学校の運動場、駐車場などⅡ期及びⅢ期工事は今年度で終了予定です。今後はソフト面の整備として、軽米小学校、小軽米小学校に続き、晴山小学校の教育用ＰＣ（パソコン）をタブレット型ＰＣに更新し、ＩＣＴ機器活用力を高めながら学力の向上を推進します。

また、軽米高校生や中学生の漢字能力検定受験料を助成し、生徒の受験機会の確保と学習意欲の醸成を図ります。

豊かな自然と美しい景観のまちづくり

【環境衛生】

清潔で住みよい町づくりのため、町民総参加で道路河川等の清掃を行い、美しい町づくりと環境衛生に対する意識を高めるよう、クリーンアップ事業を継続して行います。

また、町民や事業者の皆様との連携を図りながら、地域における３Ｒ（減らす・Reduce　再利用・Recycle　再資源化）運動、家庭用生ごみ処理機及びコンポストの購入費補助事業を継続実施するとともに、減量化・資源化に向けた取り組みを本格実施します。プラスチック製容器包装は、従来どおり燃えるごみとして収集することになりますが、中間処理業務体制を研究するなど二戸広域管内全体の課題として情報交換などを行いながら将来的な本格実施を模索します。

生ごみ処理機やコンポストの購入費を補助し、ごみの減量化に取り組みます。

最終処分施設建設計画については、事業者の動向を注視しながら、八戸圏域水道企業団、洋野町と連携し、建設の阻止、反対の立場を訴え、引き続き情報収集に努めます。

資源を活かした地域産業のまちづくり

【水稲】

本年は飼料用米の作付が増加すると見込まれることから、農家所得の向上を図るため、関係機関と連携し収穫量向上のための指導を徹底するとともに、不足している飼料用米倉庫を整備します。

【園芸振興】

新技術の導入等により栽培技術の向上、担い手の確保・育成、産地力の強化を図り、多様化するニーズに対応した流通販売体制を推進します。

【畜産振興】

和牛の繁殖経営では、子牛価格が高値で推移するなど畜産経営は全般に安定していますが、ＴＰＰ交渉が加速したとの報道もあり、大きな影響が懸念されることから、経営体質の強化を図るため、飼養管理における低コスト化や担い手農家の規模拡大を推進するための施策に取り組みます。中小家畜については、県下でも屈指の生産地帯であり、国や県の価格保証制度に、町としても助成を続け、安定的発展を支援します。

【農地活用・担い手育成】

町農業の維持発展に不可欠な農地の有効活用と、担い手の育成については、農地中間管理機構と密接な連携のもと、農地の借入、貸付に関する機構集積協力金交付事業を活用し、担い手への農地の集積及び集約化を推進するとともに、新規就農・経営継承総合支援事業の更なる周知を図りながら新規就農者を発掘し、経営開始に向けた取り組みへの支援や、集落営農組織への取り組みなどを通じて、担い手の確保に努めます。

【農業基盤整備】

中山間地域整備事業などにより、農道の整備を行うほか、効率的な農業経営を図るために必要な区画整理事業の推進について検討します。

【林業関係】

森林整備事業については、町有林大平事業区の下刈作業や間伐作業を実施し、森林事業の重要性に対する認識を高めるよう事業を進めます。

第32回を迎えるグリーンデーは、晴山小学校を会場に町内の小学生や一般ボランティアの参加による植樹祭を開催します。

また、木炭・しいたけ生産者や森林組合等との連携を図り、森林資源の有効活用、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させることができるよう、広葉樹里山森林資源活用再生事業を推進し、特用林産物の生産振興を図ります。

【商工業振興】

軽米町商工会や軽米中央商店会が実施している各種事業に対して助成をし、地元企業からの情報収集を徹底し、中小企業の支援を進めます。

また、商工業者の運転・設備資金などの資金確保の円滑化と利子負担の軽減を図るために、引き続き町の制度融資の斡旋による利子補給事業を実施します。

【中心商店街の活性化対策】

中心商店街における空き店舗の増加、町内購買力の低下が懸念される状況が続いていることから、今後も引き続き商品券発行やお買い物ラリーを開催するなど、町内商店の利用促進に努めるとともに、かるまい中心市街地整備推進委員会の報告を受け、多世代型『かるまい交流駅（仮称）』の調査検討や地域商業の自立促進調査の分析を行い、元気あふれる中心商店街の創出に向けた取り組みの強化を図ります。

【地場産業の振興】

町商工会が中心となり関係者で組織する認証委員会が認証している『かるまいブランド』を生かして、「食の町かるまい」を県内外に発信するとともに、地場産品の特産品化と販路拡大事業を支援することにより、新たな農産物や特産品の掘り起こしと既存商品の洗練化を図り、地場産業の振興に努めます。

【再生可能エネルギー】

民間事業者により計画の進んでいる鶏糞バイオマス発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーを町が主導的・計画的に推進するため、再生可能エネルギー推進協議会において基本計画策定を目指して検討協議を進めています。

また、再生可能エネルギー利用の一環として、地中熱を活用した役場庁舎暖房システムと停電時における庁舎内の電源の確保を目的に太陽光発電設備の設置を進めます。

多様な交流が生まれるまちづくり

【観光】

町観光協会が中心となり実行委員会を組織して実施する軽米秋まつりは、本年度は９月19日から21日までの３日間開催することが決定され、町の活性化が図られるような盛大な秋まつりが開催されるものと期待しています。

施設開園26年目を迎える雪谷川ダムフォリストパーク・軽米で開催している森と水とチューリップフェスティバルについては、早咲きから遅咲きまで、多様な品種の球根の更新などにより、５月の大型連休の開花を目指しながら、イベント内容の検証を行うとともに、昨年度に引き続き、シバザクラやチューリップを生かしたウォーキング大会を開催し、「花のまち軽米」を積極的にアピールしながら誘客促進を図ります。また、シバザクラの見事な景観を町内外にアピールするため、施設活用も含め、体育協会の各競技団体との協働により、パークゴルフや野球のほか、各種スポーツ大会等を開催し、交流人口の拡大に努めます。

さらに、春から夏にかけての観光資源と集客に向けての整備に努めます。

26年度は1万9,000人が訪れた『森と水とチューリップ』フェスティバル

当初予算

豊かで安心、魅力ある地域の創造に向け

平成27年度も地方交付税など、主要な歳入の増額は期待できず、財政状況は依然として厳しい状況に変わりないと見込んでいます。

予算編成にあたっては、財政状況を踏まえ、歳入では、町税収入の確保や適正な受益者負担をお願いしながら自主財源の確保に努め、歳出では、総人件費の削減・抑制、費用対効果の検証による事務事業の見直しなど、歳入に見合う歳出の抑制を基本とした健全財政の取り組みを堅持しつつ、先に町長選挙もあったことから、基本的には、経常経費や継続的要素の強い事業などを中心とした骨格的な予算編成に取り組みました。

具体的な施策に係る予算については、補正予算を編成して取り組みます。

本年度の当初予算は62億５８００万円

平成27年度一般会計当初予算総額は、前年度予算と比較して８・９％減の62億５８００万円としました。

歳入の確保と歳出の抑制を基本に編成しましたが、最終的に４億４５７８万円の財源不足を生じました。

この財源不足額については、財政調整基金により調整しましたが、今後の財政運営に当たっては、一層効率的な予算の執行に努めるとともに、財政の厳しい状況を直視し、限られた財源の重点的・効率的な配分に努めます。

教育委員長施政方針

3月3日の町議会定例会の教育行政方針演述で戸草内勝夫教育委員長は「平成27年4月1日から地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正が施行されることに伴い、教育委員会制度改革に対応しながら、軽米町教育振興基本計画に基づき、教育行政のなお一層の推進に努めて参りたい」と決意を述べました。本年度の主な施策、事業などについてお知らせします。

施政方針を述べる
戸草内教育委員長

◆学校教育の充実について

【幼児教育の充実】
預かり保育や給食の実施など、子育て支援の充実と特色ある幼稚園づくりに努めます。

【学力向上】
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るため、授業改善研修会や学力向上先進校視察の開催、少人数指導や学習支援員等の配置、中学生を対象とした長期休暇中の特別学習会など、幅広い取り組みを進めます。
また中高生の英語検定料助成事業のほか、漢字能力検定への助成事業を新たに加え、中高一貫教育の中で学力向上を図ります。

【特別支援教育の充実】
関係機関と連携を図りながら、様々な障がいの早期発見と、個々へのきめ細かな指導・支援計画の作成に努めるとともに、特別支援コーディネーターの配置などにより適切な支援体制を図ります。

【道徳教育の充実】
教育課程全体の中で取り組むとともに「道徳の時間」を充実させ、日常生活と結びつけた道徳的実践力の育成に努めます。

【健康教育の充実】
児童生徒、教職員の検診を継続するとともに、小中学校の給食費の助成や食育の推進を図るため、軽米産の食材を提供していきます。

【環境教育の充実】
学校給食における牛乳パックリサイクル運動を継続実施するとともに、太陽光発電など自然エネルギー活用の学習を家庭や地域における日常生活の中で、体験活動を通じた学習の展開に取り組みます。

【キャリア教育の推進】
職場体験を通じて、働くことの厳しさや喜びを感じ、自分の将来を考える機会となるよう職業観の醸成に努めます。また、実施にあたっては、各校に担当教員を配置するとともに、町キャリア教育推進協議会と連動のもと進めます。

【国際理解教育の推進】
小・中・高合同での英語暗唱弁論大会の開催など、コミュニケーション能力の向上と国際理解を深めるとともに、中高生の海外派遣事業などグローバルに活躍できる人材の育成に努めます。

【情報教育の推進】
タブレットを主にしたコンピュータ機器の更新を行うとともにＩＣＴ教育講習会の充実を図り、また、情報モラルに関する教育は、家庭や関係機関との連携を図り、実態に即した指導に努めます。

【適応指導の充実】
生徒指導体制の一層の充実を図るため、生徒指導研修会や学校警察連絡協議会、生徒指導連絡協議会を開催するとともに教育相談やスクールカウンセラーを有効活用し、教育相談体制を確立します。

【教員研修の充実】
授業改善研修会、教務主任研修やＩＣＴ活用授業研究会などを実施し、指導力の向上や資質の向上を図ります。

【地域に開かれた学校づくり】
学校評議員からの外部評価による教育活動の改善を図るほか、町内一斉学校公開を実施し、保護者や地域と連携・協働する地域に根ざした学校づくりに努めます。

【中高一貫教育】
中学校、高等学校の6年間を通じた系統的、継続的指導による学力の向上を図り、中高一貫だよりの定期的発行、中高一貫教育支援者拡大会議などの充実に努めます。

◆社会教育の推進

【国庫委託事業】
国庫委託事業の「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を導入し、家庭教育支援や放課後子ども教室、学校支援などの事業を展開します。

【家庭教育支援】
子どもを持つ親を対象に、子どもの発達段階に応じた子育て、しつけ、食育などに関する家庭教育学級を開設し、家庭や地域の教育力の向上に努めます。

【放課後子ども教室】
安全・安心な子供の活動拠点を設け、地域の方々から協力をいただき、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などに取り組みます。

【学校支援】
小中学校の学校図書館支援と併せて、26年度にスタートした軽米高校の学校図書館支援も継続して行います。

◆生涯学習のまちづくり

【生涯学習の充実】
協働・参画による生涯学習のまちづくりを進め、関係機関との連携を密にし、住民誰もが、いつでも、どこでも主体的に学習できる環境を整え、学習成果を適切に生かす社会の実現に努めます。

◆公民館、図書館運営

【中央公民館運営】
町の学習拠点施設として、地域住民のニーズに対応した学習講座や研修会などに利用しやすい施設運営に努めます。

【笹渡・晴山・小軽米分館】
中央公民館の分館として、継続して、地域の方々からご意見などをいただきながら、よりよい活用方法を見出します。

【図書館運営】
利用者のサービス向上に一層努めるとともに、図書館機能の充実を図ります。

◆生涯スポーツの推進

【スポーツ活動の活性化】
町民誰もがスポーツに親しみながら、体力の向上を図り、健康的な生活を送ることができるように各種スポーツ活動への参加機会の拡大を図ります。

【スポーツ施設】
2016希望郷いわて国体の軟式野球競技の開催地として進めてきたハートフル・スポーツランド野球場の改修工事が完成し、本年度は開催前年度としてソフト面の整備に重点を置き「いわて国体軽米町実行委員会」により準備を進めます。

【芝桜の植栽】
本年度も住民との協働により実施し、芝桜の開花時期には、体育協会の各競技団体と連携し、芝桜スポーツフェスティバルを開催します。

◆文化の振興

【芸術文化の振興】
個性豊かな地域文化を創造するため、町民の意欲的な文化活動を促進し、町民文化祭の作品展示会、優れた芸術を鑑賞する機会などを通じて、町民の創作活動を奨励します。

【文化遺産の保存と伝承】
町内に多く存在する貴重な文化財となる郷土資料の収集保存や遺跡を計画的に調査・発掘し、有効な保護と、記録保存に努めます。

◆教育振興運動の推進
教育振興運動は県独自の教育運動として教育水準の向上を目指し、子ども、親、教師、地域社会、教育行政の5者の連携のもとで自主的な運動として展開されています。
各実践区において「子どもは地域全体ではぐくむ」という機運を高め、地域づくりを基盤に据えた住民運動として推進します。

防犯の意識を高める

～地域の安全は一人一人の心がけから～

町防犯協会で作成したポップ
心当たりのない電話は要注意です

「料金未払いであなたが訴えられている」という内容のハガキ。これも詐欺の手口

―『防犯』―毎日のようにニュースで流れる様々な事件は、今や他人事ではなくなりつつあります。地域の安全はみんなで守る。しかし、その前に一人一人の心がけで防げることもきっとあるはずです。今回は町内で防犯活動に携わる方々から現状と注意する点を伺いました。

安心と油断は違います
ちょっとした外出でも鍵かけを

軽米町防犯隊　隊長
山舘　松五郎（まつごろう）　さん

平成26年度は、車門地区が『鍵かけモデル地区』として二戸警察署から指定を受けました。岩手県、特に県北地方は昔から「お隣さん」という感覚で安心し、鍵をかけずに出かける世帯が多く見受けられます。

しかし現在は、車の普及により行動範囲も広くなったことで、他の地域の方も比較的多く入っているという事を考えなければなりません。

世帯訪問などを行った際にも、玄関に施錠されていない世帯が3割ほど見受けられました。当町での『鍵かけモデル地区』の指定は、3月で終了となりましたが、今後も住民の皆さんが防犯に対する意識をより高く持ち、ちょっとした外出の際にも施錠をし、盗難被害にあわないように心がけていただきたいと思います。

私たちも『地域安全運動』や『青色回転灯パトロール』などの巡回活動により、地域の防犯に努めます。

増える特殊詐欺被害
町防犯協会が啓発用品を作成

軽米町防犯協会（かずお）　会長
日山　一夫　さん

昨今、全国的に振り込め詐欺などの特殊詐欺被害の増加が問題となっております。岩手県内でも被害が増加しており、昨年は84件で4億2000万の被害があり、二戸警察署管内においても、5件で460万円ほどの被害があったと伺っております。

宅配便やゆうパックでの送金による被害が増加するとともに、若者を狙ったサイト利用などの架空請求詐欺も出現するなど、対処が非常に難しくなっております。

町民の皆様が特殊詐欺の被害者とならないように注意していただきたく、電話による詐欺が最も多いことから、電話機に貼り付ける「特殊詐欺防止」の啓発用品を配布することといたしました。不審に感じられる電話があった際は、すぐお近くの警察や役場に相談していただきたいと思います。

二戸警察署
軽米駐在所長
小野寺　雄二（ゆうじ）　さん

特殊詐欺と聞くと、まさか自分がだまされることはない、と思っている方が多いのが現状だと思います。

現在は金融機関の協力により、多額の現金の引き落としはすぐ警察に通報していただいています。2月の末にも二戸管内で、500万円ほどの現金を下ろしたが、使い道があいまいだったことから連絡が来てお話を伺ったという事案もありました。

3月に入ってからは「通帳にいくら入っていますか?」ということを聞き出そうとする電話がかかって来た、と相談に来られた方が数名いました。

警察としては、被害に遭わなかったからよい、というのではなく、積極的に犯人を捕まえることにご協力をお願いしています。

詐欺被害を未然に防ぐチャンスは2回。お金を下ろす前と、下ろしたお金を振り込む前です。お金の絡んだ話になったときは、まず警察にご相談ください。

二戸消防署軽米分署が完成

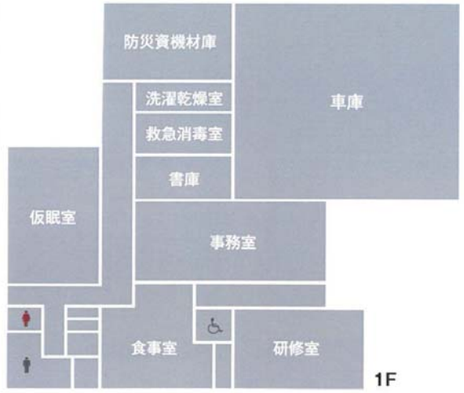
平成26年７月から新築工事を行っていた二戸消防署軽米分署が２月に完成しました。３月16日に行われた落成式では山本町長が「各所に最新の設備を備えており、住民の皆様の安心・安全を守ることはもちろん、消防職員消防団員の訓練や、地域住民に対する防災教育の実施など、地域の防災力の強化にも大きな役割を果たす施設として活用していただきたい」とあいさつ。
今回は、施設の内部をご紹介します。

防災資機材庫…山火事用資機材や発電機などが入ります

消毒室…出動後の衣服を消毒する部屋。右下に見えるのはオゾン装置

落成式前に行われたテープカットの様子

（上）浴室、（下）洗面台…勤務は交代制でも消防署は24時間休みなし。泊りこみで常に火災、救急、災害に備えます



事務室…窓の向かい側の壁には消防本部との通信機材が並びます

食事室…職員の食事場所は、停電時にも対応できます

研修室…マットを敷くことで、機械等の実技講習も可能。奥の壁は町産材を使用しています

よろしくお願いします！

新採用職員を紹介

税務会計課　主事補

野中　翔平（上円子・22歳）

人生の先輩、職場の先輩方のお力を借りながら、「らしく」いこうと思います。

町民生活課　主事補

清藤　文喜（河北・18歳）

何事にも全力で、前向きに、明るさを発揮して頑張ります。よろしくお願いします。

産業振興課　主事補

関向　幹也(外川目・22歳)

生まれ育った町の為に頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

地域整備課　主事補

川崎　彩香（岩崎・25歳）

町民の皆さんと一緒に、より良い町づくりをしていくため、一生懸命がんばります。よろしくお願いします。

教育委員会事務局　主事補

横島　咲菜(横枕・22歳)

今までたくさんお世話になった軽米町に、これからは支える側として貢献できるよう努めていきたいと思います。

軽米保育園　保育士

安藤美由紀（小玉川・31歳）

子育ての経験を生かしながら、子ども一人ひとりに寄り添い良き理解者となるよう精一杯頑張り努めたいと思います。

健康福祉課　保健師

小林真由美（駒板・33歳）

保健師としては初心者ですが、町民の皆様の健康をサポートできるよう全力で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

晴山保育園　保育士

長井　茉侑（沼・20歳）

保育士１年目です。毎日、笑顔で明るく子どもたちと過ごしたいと思います！よろしくお願いします。

地域整備課　運転手

苅敷山佳樹（下野場・22歳）

これからは、役場職員として自覚を持ち全力で仕事に取り組んでいきたいと思います。

平成27年度　町役場組織と職員配置（敬称略）

＜平成27年４月１日発令＞

太字は課長級職、◎はグループ長☆は新採用、㊊は併任、㊎は兼務、㊐は再任用、色付氏名は異動・昇格者

総務課

課長　**日山　充**
担当主幹　**平　俊彦**
課長補佐　吉岡　靖
課長補佐　**小林　浩**
企画グループ
◎主任主査　畑中幸夫
主任主査　**小林千鶴子**
主事　小笠原信也
主事　山舘さくら
運転手　工藤　剛
用務員　田中裕子
総務グループ
◎主任主査　角田貴浩
㊊主査　輪達ひろか
主事　大村亮憲
主事　**笹山泰嵩**
主事　**苅谷太基**
㊐主任主査　中村利見
総務課付
（山田町派遣）　外山和寿
（二戸地区広域行政事務組合派遣）　**上村利広**
（岩手県後期高齢者医療広域連合派遣）　山下善昭
㊐（社会福祉協議会派遣）　**工藤光政**
㊐（特別養護老人ホームいちい荘派遣）　**高橋良春**
㊐（野田村派遣）　齋藤　崇
選挙管理委員会事務局
㊊**事務局長**　**日山　充**
書記　輪達ひろか

税務会計課

会計管理者兼課長　**山田　元**
担当主幹　**於本一則**
課長補佐　戸田沢光彦
課税グループ
◎主任主査　**福島貴浩**
主任主査　小笠原達夫
主任主査　日山一則
主事補　小野寺史葉
収納グループ・会計グループ
◎主任主査　梅木勝彦
主任主査　**竹澤泰司**
主事　川島幸徳
☆主事補　**野中翔平**

町民生活課

課長　**中野武美**
町民生活グループ
㊎◎課長補佐　**福田浩司**
主任主査　**橋場光雄**
主査　**鶴飼靖紀**
主事　**野中孝博**
主事　藤原華香
主事　**山田のぞみ**
☆主事補　**清藤文喜**
総合窓口グループ
◎主任主査　**古舘寿徳**
主任　紫葉千賀子
主事補　福田丈幸
●小軽米出張所　中野とき
㊐主査
㊐主査　小笠原邦之

健康福祉課

課長　**川原木純二**
福祉グループ
㊎◎課長補佐　**坂下浩志**
主査　関向孝行
主事　加藤美紀
主事　小野寺繭子
主事　**日山菜穂実**
地域包括支援センター
上席主任看護師　内城良子
主任看護師　下谷地由美子
社会福祉士　田代沙織
保健師　八幡美紀
健康づくりグループ
◎主任主査　**大西　昇**
上席主任栄養士　工藤晃子
保健師長　日向安子
主任看護師　藤田美枝子
主任社会福祉士兼栄養士　**山田里美**
保健師　瀧澤さやか
☆保健師　**小林真由美**
㊐主任保健師　**中里早苗**
㊐主任保健師　櫻場栄子
㊎**所長**　**川原木純二**
居宅サービス・居宅介護支援グループ
◎所長補佐　松浦近子
主事　小野寺　悟
生活相談員　梅木久美子
介護福祉士　外川愛子
介護福祉士　杉浦謙二
●軽米保育園
園長　**川島康夫**
園長代理　**内澤典子**
上席主任保育士　中村由季
主任保育士　下斗米　敏
主任保育士　檀澤順子
保育士　増尾祐子
保育士　金田奈々
保育士　古川　唯
保育士　日山侑香
☆保育士　**安藤美由紀**
調理師　新井田直子
●小軽米保育園
園長　**堀米豊樹**
園長代理　野中恵美子
上席主任保育士　川崎弥生
保育士　**大清水恵**
保育士　滝沢暢子
保育士　大内蔵田眞子
調理師　平船シズエ
●晴山保育園
園長　**小笠原　亨**
園長代理　安藤京子
上席主任保育士　**長坂佐知子**
上席主任保育士　小林留美子
保育士　**坂本麻衣子**
☆保育士　**長井茉侑**
●笹渡保育園
園長　**石川敦子**

議会事務局

事務局長　**佐藤暢芳**
◎主任主査　橋本邦子
主査　鶴飼義信
※監査委員事務局を併任

産業振興課

課長　**高田和己**
農政企画グループ
◎主任主査　坂本　修
主任主査　**戸草内和典**
主任　**紫葉優樹**
主任　**小林　誠**
☆主事補　**関向幹也**
農林振興グループ
◎主任主査　工藤　薫
主事補　明岡　寿
主任主査　**小笠原隆人**
㊐主査　**日山久志**
商工観光グループ
◎主任主査　**松山　篤**
主任主査　**外山　充**
主査　寺地隆之
㊐主任主査　江刺家　高
☆主事　**小林　誠**
☆主事補　**関向幹也**
☆運転手　**苅敷山佳樹**

農業委員会事務局

㊊**事務局長**　**高田和己**
㊊主任主査　坂本　修
㊊主任　**紫葉優樹**
㊊主事　**小林　誠**
㊊主事補　**関向幹也**

地域整備課

課長　**新井田一徳**
環境整備グループ
◎主任主査　江刺家雅弘
主任主査　**輪達隆志**
主査　**神久保恵蔵**
主査　**小林夏樹**
主事　**玉舘博一**
運転手　池田明広
上下水道グループ
◎主任主査　日脇邦昭
主任主査　長瀬設男
主任主査　中村勇雄
主任主査　**吉岡芳幸**
主事　玉舘　透
☆主事補　**川崎彩香**
☆運転手　**苅敷山佳樹**

教育委員会事務局

教育次長　**佐々木　久**
教育総務グループ
◎主任主査　**川原木祐子**
指導主事　**八ツ役真司**
主査　於本博之
主任　寺地亜紀子
主任　千葉久司
主事　山下博之
☆主事補　**横島咲菜**
運転手　古舘義明
生涯学習グループ
◎主任主査　大清水一敬
㊐主任主査　鎌戸和則
※水道事業所職員を併任

教育委員会事務局

主任兼学芸員　藤田直行
主事　大川訓寿
主事　関向哲志
主事　**菅原里枝**
主事兼社会教育主事　**古里結美**
●町立図書館・軽米中央公民館
館長　**佐々木　久**
主任主査　**工藤祥子**
●軽米幼稚園
園長　圃田清和
園長代理　古舘孝子
教諭　山仁江利子
教諭　吉田彩香
●学校用務員
軽米中　藤嶋百合子

【退職者】　敬称略

（平成27年３月31日付）

野中　勲（総務課長）
中里早苗（健康福祉課長）
日山愛子（上席主任栄養士）
兼田英明（地域整備課長）
工藤光政（教育次長）
高橋良春（議会事務局長）
大村眞理子（軽米保育園長代理）
中里祥子（保健師）
袈主勝幸（運転手）

平成27年度から

児童生徒医療費助成制度を拡大します

児童生徒医療費助成制度の受給対象年齢を18歳到達後の最初の３月31日までに拡大します。さらに、対象医療機関の範囲も拡大します。

●変更点●

≪現行制度≫

受給対象…小学生及び中学生（就学時から15歳に達する年度の３月末まで）
対象医療機関…町内の保険医療機関及び町内の保険調剤薬局
申請方法…医療機関窓口で一部負担金相当額を支払った後、月ごとにまとめた領収書と申請書を町民生活課まで提出する。

NEW! ≪４月１日から≫

受給対象…就学時から18歳に達する年度の３月末まで
対象医療機関…保険医療機関及び保険調剤薬局（町内・町外は問いません）
申請方法…医療機関窓口で一部負担金相当額を支払った後、月ごとにまとめた領収書と申請書を町民生活課まで提出する。

新しい児童生徒医療費助成制度を利用するためには、年齢により手続きが異なります。

◎以下に該当する方は手続きが必要になりますので、申請書を送付します。

・現在、乳幼児医療費助成制度を利用している方で平成27年４月から小学校に入学される方
・平成９年４月２日から平成12年４月１日生まれの方（進学、就職等の有無は問いません）

現在、児童生徒医療費助成制度を利用していない方で受給対象年齢に該当する方は申請をすることで、助成を受けることができます。

申請には、印鑑（シャチハタ不可）、子どもの保険証、通帳が必要です。町民生活課窓口で随時受付をしています。（ただし、申請をした月の初日から該当になります）

◎以下に該当する方は、手続きは不要です。

・現在、児童生徒医療費助成制度を利用している方で平成27年度に小学２年生～中学３年生の方（平成12年４月２日から平成20年４月１日生まれの方）

※現在使用中の児童生徒医療費受給者証については４月以降もそのまま使用できます。
※平成27年４月診療分から町外の医療機関についても医療費の申請ができますが、平成27年３月診療以前の申請は町内の医療機関等のみです。

一口メモ
医療費助成制度とは？
医療機関等で保険診療を受けた場合に、窓口で支払った一部負担金を受給者に給付する制度です。

町では、各種医療費の助成を行っています。

申請手続きは、町民生活課で受け付けています。該当する事業により申請に必要なものが異なりますので、該当する場合は窓口もしくはお電話にてお問い合わせください。

【問い合わせ先】
町民生活課　町民生活グループ（☎４６－４７３４）

電気自動車（EV）用充電スタンド

役場庁舎前、ミル・みるハウスに設置

利用開始には町長も立ち会いました

この看板が目印です

ミルみるハウスに設置された充電スタンド

ＥＶなど次世代自動車の普及に対応するため、町役場庁舎前とミル・みるハウスに設置が進められてきた急速充電設備の設置工事が完了し、３月２日から利用が可能となりました。

利用には専用のカード（おでかけＣａｒｄなど）が必要となりますが、使い方は機械にカードをかざすだけと簡単。30分ほどでおよそ80％の充電が可能です。

利用開始にあたり山本町長は「役場での手続きのついでや、ミル・みるハウスでの買い物のついでなど気軽に利用して相乗効果につながってくれれば」と期待を込めました。

受章者（敬称略）

★消防庁長官表彰
【永年勤続功労章】山野下信夫（副本部長）
★岩手県知事表彰
【功績章】大村錦一（分団長）
清水隆治（分団長）
中野弘（副分団長）
古里素祐（副分団長）
高柳文昭（副文団長）
★日本消防協会長表彰
【功績章】日向日出男（副団長）
【精績章】畏主文雄（本部付分団長）
【勤続章】古舘勲（分団長）
堀米成嘉（副分団長）
澤田晶（部長）
佐々木晃（部長）
平林和代司（部長）
★岩手県消防協会長表彰
【功労章】下谷地敦雄（分団長）
【功績章】高橋薫（分団長）
堀米成嘉（副分団長）
畑林悦男（部長）
【内助功労】高柳智恵子（分団長令夫人）
下谷地安子（分団長令夫人）
【優良協力隊員】
田中トヨ（小軽米地区隊員）
笹山ひとみ（山内地区隊員）

-平成26年度岩手県消防表彰式-

消防活動に貢献した功労者20人が受章

岩手県消防定例表彰式が３月17日に盛岡市の市民文化ホールで開催され、町の消防団員や婦人消防協力隊員など、長年にわたり消防活動に貢献した功労者20人に表彰状と記念品が贈られました。

表彰式後、受章者らは役場を訪れ、山本町長に受章の喜びを報告しました。

また、今回は町消防団に対しても日本消防協会から優良消防団表彰を、岩手県消防協会からは無火災表彰を受章しました。

受章の報告に山本町長のもとを訪れた消防団員ら

◆皆さんの地域の話題や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎４６－２１１１・内線２０６）までご連絡ください

講師の解説を真剣に聞く軽高生たち

目標大学を見据えて

軽米高校春季特別課外授業

軽米高校で３月18日・19日の２日間、有名予備校の講師を招いて国語、数学、英語の特別課外授業が行われました。英語の授業では、長文の読解力をつけるため、文章を区切って短い文節を読み解くことで文章全体を推測する方法を学びました。「最初はどんなに短く区切ってもいい。少しずつつなげていけばどんな長文も読めるようになる」というアドバイスを受け、みな真剣に取り組んでいました。

駐在さんの匠の技

小軽米駐在所長が保育園に看板寄贈

二戸警察署小軽米駐在所長の瀧澤和博（かずひろ）さんから「小軽米保育園」と園名の入った木彫りの看板が贈られました。子どもの工作を手伝ったのが木工との出会いと話す瀧澤さんは、その時見つけた創英新江戸文字というワープロ独特の字体に魅了され、現在までの作品数は400点を超えるとのこと。これまでの赴任地でもお寺や学校などに作品を寄贈しており、今後も町の施設などに贈りたいと話しました。

瀧澤さん（左）から看板を受け取った新井田小軽米保育園長

読書好きの子供たちに表彰

町読書のつどい

町読書のつどい（町教育委員会・町立図書館主催）が２月28日、中央公民館で開催されました。子ども司書講座（当誌№665号参照）の認定証が授与されたほか、読書感想文・感想画コンクール表彰式では、各部門の入賞者に表彰状が手渡されました。また、ＮＰＯ法人はちのへ未来ネット代表理事の平間恵美さんによる段ボールシアターやブラックシアターが行われ、参加者らは物語の魅力に引き込まれていました。

表彰状を受け取る受賞者

子ども司書の認定者とコンクールの表彰者は右のとおりです。（学校・学年は受賞当時、敬称略）

■子ども司書
小林千衣良（ちえり）（軽米小３年）、古里紘己（こうき）（晴山小６年）、苅谷愛莉（あいり）（晴山小５年）

■読書感想画部門
〈小学校１・２年の部〉最優秀賞：寺地惇喜（あつき）（軽米小１年）優秀賞：畑中美緒（みお）（晴山小１年）

■読書感想文部門
〈小学校３・４年の部〉最優秀賞：寺地就哉（ゆきや）（軽米小３年）優秀賞：日影千夏（ちなつ）（晴山小４年）〈小学校５・６年の部〉最優秀賞：兼田愛唯（めい）（小軽米小６年）優秀賞：河村尚緒（なお）（晴山小６年）〈中学校の部〉最優秀賞：戸草内葉月（はづき）（軽米中３年）優秀賞：小笠原美紀（みき）（軽米中２年）

空き缶集め、車いすを寄贈

小軽米小が車椅子を寄贈

町立小軽米小学校で３月３日、町内にあるデイサービスセンターせせらぎに車いすが贈られました。空き缶回収の収益金で車いすを購入。およそ２万本で車いす１台分になり、同校と統合する前の小玉川小学校時代から続いている伝統の活動です。環境ボランティア委員長の大谷崇仁（たかひと）くんは「みんなの協力で今年も達成することができました。大事に使ってほしいです」と目標達成を喜んでいました。

「おじいちゃん、おばあちゃんも喜びます」と受け取りました

軽米町の特産品が並んだ物産コーナー。来場者に自慢の品をPRしました

軽米の観光と物産のＰＲ

軽米町観光と物産キャンペーン

観光と物産キャンペーン（町観光協会主催）が３月７日と８日、八戸市で開催されました。物産展には雑穀やさるなしを使った町の特産品、木炭や味噌、醤油などが並べられ、多くの来場者が集まり、買い物を楽しんでいました。

チューリップ苗のプレゼントには山本町長も参加。５月に行われる「森と水とチューリップフェスティバル」をＰＲしました。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

おとふけ食のフォーラムが総合福祉センターで開かれ、勝本吉伸氏や佐々木達氏の地産地消に関する講演が行われました。また、学校給食の試食や餅つき体験のほか、おおそでくんキッチンで料理をする子どもたちの様子などがパネルで紹介されました。

おとふけの「食」を知るイベントが行われました

沸き立つ湯気をじっと見守ります

今年はどんな年になる？

円子神社お湯釜祭

円子神社で３月15日、『お湯釜祭』が行われました。釜の中に沸いたお湯をかきまぜ、立ち上る湯気の切れ方により吉凶を占うこの行事は250年以上の歴史を持ち、藩主の病気の治癒を願った祈祷が始まりとされているそうです。今年は米や雑穀、野菜などの農産物や、牛、豚などの畜産物の出来と価格のほか、地震や台風といった災害などを占い、例年にないほどの吉兆とのことでした。

キラキラ光る

中野　はるか さん

（22歳、下河南）

身長162㌢、みずがめ座

㈱アイソニック

小軽米の川をきれいにしてほしい

中野さんは現在の職場に務めて4年目になります。明るく、とても多趣味な方でした。

Q、自分の性格を一言で言うと？

頑張り屋さんで素直な子、ふわふわしてるとよく言われます。

Q、今の職業をやってみて？

地元が好きだし、細かい仕事が得意なので選びました。1ヶ月の研修を経て、辛くて挫折する時が何度もありましたが、みんな優しくて頑張ることができました。アットホームな感じでとても楽しい職場です。

Q、趣味や休日にやることは？

趣味は映画やカラオケやドライブ、パズルです。天気がいい日は、ひなたぼっこするのも好きです。吹奏楽部だったのでトランペットを吹けます！

Q、あなたの夢（目標）は？

たくさん旅行に行きたいです。

Q、町をどう思いますか？

自然がたくさんあって、のどかで良い町だと思います。小軽米の川の草木を伐採して、散歩ができるようにしてほしい!!

▼好きなスポーツ…バレーボール

▼好きな食べ物…フルーツ、ひっつみ

▼今の悩みは…未成年に間違えられ職務質問されること。笑

▼理想の異性のタイプ…笑顔が素敵であいさつをきちんとしてくれる人。芸能人だと福士蒼汰さん。

今月の俳句（北光吟社2月例句会）

人生の節目の集ひ四温晴　三上　千栄女

悴む手息ふきかけて孫帰る　千葉　紅園

枯蘆の奥に透け見ゆ白鷺よ　千葉　ふみ子

金星を明るさ競い月冴ゆる　川﨑　郁子

白梅の咲く道をゆく葬の列　中野　とき子

真直に伸びし二枝猫柳　早川　慶子

春泥に長靴とられたる子かな　中田　紀子

雪解けの水音ひびく雪谷川　川島　由蔵

小岩井の夜空に咲くや冬花火　丹下　美恵子

凍み大根さらし清流なりし頃　松村　英子

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

■夢・希望・えんぴつ■

軽米小学校　6年

下谷地　璃樹（りき） さん

（本　町）

ぼくたち5年生は、総合的な学習の時間に、エゴマについて学習をしました。様々な体験をする中で、初めて知ることがたくさんありました。

さく油体験では、韓国から輸入した機械で、時間をかけてしぼりだすことを知りました。一時間で、少しのエゴマ油しかしぼれないので、とても貴重なものだということが分かりました。

調べ学習では、エゴマの効能について知りました。血液をサラサラにしてすることがんの予防効果があること、アトピー性皮ふ炎の人は、肌に直接ぬるといいことを知りました。

苗を植える体験からエゴマを使った調理の体験まで、大村税さんと中里多喜男さんにたくさんのことを教えていただきました。初めて知ることばかりで、エゴマへの興味を深めることができました。

6年生の修学旅行では、この1年間で体験したことや調べて分かったことを仙台や松島の人たちに伝える予定です。分かりやすく伝えられるように、パンフレット作りなどを工夫していきたいと思います。また、修学旅行以外でも、いろいろな人に広めていけるように、みんなで考えていきたいと思います。

エゴマ学習で学んだこと

軽米の埋もれし宝 76

～弥生時代の道具⑦　弥生の土偶～

縄文時代に流行した粘土で形作る土偶は、最終末の晩期前葉に最盛期を迎え、大きなゴーグルを掛けたような目が特徴の「遮光器土偶」と呼ばれる精巧で華麗な装飾が施されるものになりました（平成22年5月～7月号第17回～19回参照）。

しかし、その後に作られる土偶は、目は小さく簡単なだ円で表現され、また手や足、顔の表現などが簡略化されていきました。また、頭頂部が髪を結ったように表現されるものは「結髪土偶」とも呼ばれ、縄文時代晩期後葉～弥生時代に流行します。

軽米町馬場野Ⅱ遺跡から出土した土偶（写真）は、頭頂部に結髪を表現した飾りがあり、沈線と刺突文が施されています。顔面部との間には隙間があり、アーチ状に載っかっています。

顔面は、鼻部から眉間、眉弓（眉毛のあるところ）にかけて隆起し、鼻の穴こそ刺突で表現されていますが、目・口・耳が省略されてありません。また、膨らみがなく板状になり、全体が首からやや斜め前に突き出しています。

体部は、中空（中が空洞）で膨らみのあった遮光器土偶に比べると、薄い板状となり立体感が乏しくなっています。正面には着衣を表すような「Y」字の沈線があり、その両側に乳房の隆帯を貼り付けたような跡が残っています。

以上の特徴から、この土偶は弥生時代前期頃（約2千年前）に作られたものと考えられています。

遮光器土偶と比べ技術的に退化したとも言えるような造形の変化は、縄文的な習慣を弥生時代まで残しながらも、土偶に込める願いや様々な祈りの儀式が衰退していったことを物語るのでしょうか。

（教育委員会学芸員　藤田直行）

軽米町馬場野Ⅱ遺跡出土の土偶
正面（左）と横（右）
写真提供：（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所（☎４６－２００４）

～春の交通安全運動の実施～

春の全国交通安全運動が、平成27年４月６日から15日までの10日間実施されます。

≪運動の基本及び重点≫

〇新入学児童など子どもの交通事故防止
〇自転車の安全利用の促進
〇全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

●新入学児童、子どもと高齢者を交通事故から守りましょう

子どもや高齢者を発見したときは、いつでも止まれるようにスピードを落とすなど、思いやりのある運転に努め、子どもと高齢者を事故から守りましょう。

●自転車も車の仲間です！

自転車も自動車と同様、車両です。必ず交通ルールを守りましょう。

●全ての座席でシートベルト・チャイルドシートを着用しましょう

シートベルトを着用していないと交通事故が起きた際にハンドルや天井に叩きつけられたり、車外に放出されるなど、大怪我や死亡事故につながります。同乗者全員にシートベルトを着用させましょう。

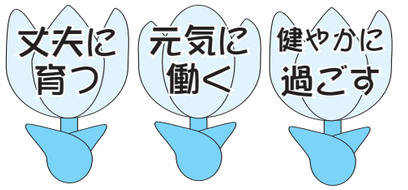
２月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	０件	０件	－３
死亡者	０人	０人	±０
負傷者	０人	４人	－３
物損事故	13件	41件	－９
救急車出動回数	39回	75回	－３

※（累計）は１月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶２月の飲酒運転検挙者はありません



健康福祉課（☎４６－４１１１）

「春を元気に過ごしましょう！」

季節の変わり目は、からだやこころに、その季節に対応するための様々な変化を起こします。こうした時期に持病が再発したり、悪化することも少なくありません。さわやかな気持ちで春を過ごすために、「こころ」と「からだ」がスッキリする方法をご紹介します。

①快眠

「春眠暁を覚えず」とは言いますが、よい目覚めは、気分爽快な１日のスタートです。

その工夫として

〇朝日が入る窓のカーテンは、開けて眠る。
〇午前中に光を浴びる。
〇その日のうちに眠る。

②適度な運動

冬に凝り固まった体を柔軟にすることも、春の健康管理の重要なポイントです。特に天気の良い日は、部屋から出てウォーキングやストレッチをしましょう！

ストレッチのポイント

〇息を止めずに、ゆっくり呼吸しながら行う。
〇反動を使わずに痛くない程度で行う。

体を春モードにチェンジし不調をはねのけて、さわやかな季節を迎えましょう！

健康福祉課
保健師　瀧澤さやか

目指そう！はつらつ人生

地域包括支援センター（☎４６－４１１１）

認知症や介護体験について語り合う

～ゆったり介護の会～

３月18日に町防災センターで介護者のつどい「ゆったり介護の会」が開催されました。

平成26年度、最後の開催は、久慈市で「認知症の人と家族の会」の代表を務める川向幸子さんをお招きし、認知症や介護体験について語り合いました。

川向さんは、若年性アルツハイマーの夫を13年間、献身的に介護されましたが、地域の人に病気を理解してもらえず苦しんだこともあるそうです。

認知症は誰もがかかる可能性がある脳の病気ですが、周りの人が理解し寄り添うことで、本人の気持ちが落ち着き、安心して暮らすことができます。

また、介護する人も元気でいるために、悩みを抱えこまず、適切なサービスを利用したり相談することが大切です。

川向さんの話に共感を覚えながら聞き入る参加者

介護者のつどい「ゆったり介護の会」は、介護の方法について勉強したり、介護に関心のある方の交流の場として、毎月第３水曜日の午後１時半から町防災センターで開催しています。どなたでも参加できますので、気軽にお越しください。

お問い合わせは地域包括支援センター（健康ふれあいセンター内☎４６－４１１１）まで。

図書館だより

町立図書館（☎４６－４３３３）

ー今月の新刊ー

図書館利用案内

日時：4月18日(土) 10:00 ～ 11:00　対象：幼児
場所：図書館となりの蔵　小学校低学年

【児童書】

ぴんくちゃん あおちゃん しろちゃん

（学研教育出版）

作・絵/かしわらあきお

ぴんくちゃんとあおちゃん、しろちゃんがみんなで変身！次はなににになるのかな？コントラストの強いピンク・青・白が赤ちゃんの目を引く、カラフルで楽しい絵本です。

東京大空襲を忘れない

（講談社）

著／瀧井宏臣

279機もの爆撃機の空襲を受け、ひと晩で10万人近くの命が奪われた東京大空襲。1945年３月10日に起きたおそろしい出来事を、生存者の証言をもとに描きます。

【一般書】

ディズニーキャラクターのお弁当レシピ

（ブティック社）

著/宮崎真美

くまのプーさん、アナと雪の女王、ベイマックスなどディズニーキャラクターのお弁当レシピを紹介します。誕生日、運動会など楽しいイベントにぴったりのメニューも併せて掲載。

火星に住むつもりかい？

（光文社）

著/伊坂幸太郎

住民が相互に監視し、密告する。危険人物とされた人間は、ギロチンにかけられる――身に覚えがなくとも。逃げ場のないこの世界で、暴走する公権力に孤独なヒーローが立ちはだかる！

町のこよみ・かるまいカレンダー

4月　April

16	木	
17	金	
18	土	図書館ひろば【図】
19	日	休日と夜間の納税相談【税務会計課】（～4月21日）
20	月	
21	火	
22	水	乳児健診【ふ】13：00～13：30受付
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	町議会議員選挙投票日
27	月	
28	火	
29	水	【昭和の日】
30	木	町税の納期限（軽自動車税・固定資産税第１期）

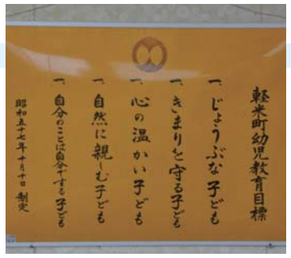
5月　May

1	金	
2	土	
3	日	【憲法記念日】 森と水とチューリップフェスティバル（～5/17）【イベント日】
4	月	【みどりの日】
5	火	【こどもの日】 森と水とチューリップフェスティバル【イベント日】・林業振興まつり
6	水	【振替休日】
7	木	婦人検診【笹渡農業構造改善センター】9：00～10：00受付、【小玉川生活改善センター】13：00～14：00受付
8	金	婦人検診・骨粗しょう症検診【環】13：00～15：30受付、17：00～18：30受付
9	土	
10	日	婦人検診・骨粗しょう症検診【環】13：00～15：30受付 森と水とチューリップフェスティバル【イベント日】
11	月	婦人検診【晴山公民館】9：00～10：00受付、【高家生活改善センター】13：00～14：00受付
12	火	婦人検診【米田農業構造改善センター】9：00～10：00受付、【小軽米生活改善センター】13：00～14：00受付
13	水	婦人検診【山内農業構造改善センター】9：00～10：00受付、【晴山農業構造改善センター】
14	木	婦人検診・骨粗しょう症検診【環】13：00～15：30受付、17：00～18：30受付
15	金	婦人検診・骨粗しょう症検診【ふ】9：00～10：00受付、【円子生活改善センター】13：00～14：00受付

（カレンダー中の【　】は開催場所で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館
図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター
老:老人福祉センター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場

スナップ写真館

山内保育園・観音林児童館の思い出



軽米町幼児教育目標

観音林児童館の遊具。砂場やジャングルジムで遊びました。

山内保育園。毎日この階段を上って通いました。

晴山保育園でも新しい遊具でいっぱい遊んでね！

お知らせ情報 Information

もっと知ろう **みんなの国民年金**

国民年金保険料の納め忘れはありませんか？

国民年金は老後の生活、障害、死亡など、もしものときにあなたの大きな支えとなります。

保険料の納め忘れが続くと、将来の老齢年金が減額されるだけでなく、老齢年金、障害年金や遺族年金を受け取れないこともあります。保険料は納期内に納めましょう。

納付書の場合は、金融機関、郵便局のほか、コンビニエンスストアで納めることができます。口座振替やクレジットカードによる納付は便利でお得です。

保険料を納めていない期間がある場合、民間事業者より電話や戸別訪問等により納付のご案内をしています。日本年金機構が民間委託している事業者は㈱アイヴィジットです。民間事業者についての詳しい内容は、日本年金機構ホームページ（http://www.nenkin.go.jp/）をご覧ください。

詳しくは、二戸年金事務所（☎２３－４１１１）または町民生活課（☎４６－４７３４）にお問い合わせください。

内科(9:00～17:00)　休日当番医　歯科(9:00～12:00)

ふくもりたこどもクリニック　（☎43-3137）	一戸町一戸	4月19日（日）	こしみず歯科クリニック　（☎33-4618）	一戸町一戸
藤田内科　（☎38-2772）	二戸市浄法寺	26日（日）	渡辺歯科医院　（☎23-2052）	二戸市堀野
二戸クリニック　（☎25-5770）	二戸市石切所	29日（水）	ムカイダ歯科クリニック　（☎46-4636）	軽米町蓮台野
すがわら消化器内科　（☎23-2879）	二戸市福岡	5月3日（日）	森川歯科医院　（☎23-6361）	二戸市堀野
金田一診療所　（☎27-2205）	二戸市金田一	4日（月）	岩渕歯科医院　（☎32-2238）	一戸町一戸
むらかみ医院いたみのクリニック　（☎48-1500）	軽米町岩崎	5日（火）	窪島歯科医院　（☎23-2425）	二戸市福岡
よこもり眼科クリニック　（☎22-2230）	二戸市堀野	6日（水）	宮沢歯科医院　（☎46-2953）	軽米町元屋町
千葉耳鼻咽喉科医院　（☎23-2009）	二戸市福岡	10日（日）	ほんだ歯科クリニック　（☎23-9591）	二戸市石切所

東北財務局盛岡財務事務所多重債務相談窓口のご案内

東北財務局盛岡財務事務所では、自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。相談は秘密厳守・無料です。お気軽にご相談ください。

■相談専用電話番号：
☎０１９－６２２－１６３７
■時間：月～金曜日（祝日、年末年始除く）の
８：３０～１７：１５
■所在地：盛岡市内丸７－２５
盛岡合同庁舎４階

～岩手で生きていく～ 2015ふるさと二戸合同企業説明会開催

平成28年３月卒業予定の学生（大学・短大・専門学校等）及び既卒者・Ｕ・Ｉターン希望者を対象とした二戸地域の合同企業説明会を開催します。

地元企業担当者から直接説明を聞き、就職にむけた情報収集ができます。

■日時：５月８日（金）
13：00～17：00
■場所：なにゃーと
お問い合わせ先　二戸地域雇用開発協会（☎２３－３０４０）

ヨイ歯デー テレホン相談開催！

■日時：４月17日（金）
10：00～19：00
■内容：歯あるいはお口に関する悩みなど
■相談料：無料
お問い合わせ及び当日の相談先
岩手県保険医協会ヨイ歯デーテレホン相談係（☎０１９－６５１－７３４１）

【九戸政実市民文士劇再演へ】

昨年、大好評を博した九戸政実市民文士劇「天を衝く」の再演と、観てくれた方へ誇りと感動を伝えたいという有志が集い、二戸市民文士劇実行委員会が３月に発足しました。会場となる二戸市の名前を冠してはいますが、一戸町・軽米町・九戸村の協力を得て、県北地域に住む広い意味での『市民』の参加を呼び掛けています。実行委員長は軽米町在住の作家北上秋彦さん。同実行委員会ではキャストとスタッフを大募集しています。

〔開催概要〕
日時：10月３日(土曜日)、4日(日曜日)
会場：二戸市民文化会館　大ホール
〔募集概要〕
住所・氏名・年齢・電話番号・キャスト/スタッフの希望を記載し下記までお申し込み下さい。
対象：練習・制作に通うことのできる小学５年生以上の方
内容：キャスト（役者・エキストラ）/スタッフ（大道具・小道具・衣装・メイク・照明・音響など）
〔お問合せ先・応募先〕
二戸市民文士劇事務局(〒028-6103二戸市福岡字八幡下44)
メールnsb@silk.ocn.n.jp　☎４３－４２５０（ＦＡＸ兼用）

（広告スペース）

広報
かるまい
4
平成27年
4月号
(No.673)

もうひとつの閉館式

山内保育園、観音林児童館と同じく閉館を迎えた町立晴高児童館。昭和47年に開園し、平成19年度の卒園児を送りだした後に休館。そして今年の３月15日、４月からの晴山保育園の開設に併せて観音林児童館とともに最後の日を迎えました。これまでの42年間で送り出した園児は408人。閉館式には当時の保育士らも集まりました。

冠婚葬祭　＜敬称略＞

１　月　分

おしあわせに

笹山泰嵩（下新町）
尾友永（九戸村）

おくやみ

（　）内は享年

下尾田　中里寿男（55歳）
車門　川原木孝（51歳）

２　月　分

おしあわせに

小野寺悟（下晴山）
船渡美文（久慈市）

おめでた

（　）内は父母の名

本町　山下遼太（りょうた）（博之・かおり）
萩田　苅谷尽都（じんと）（佑樹・智子）
米田　瀧澤結乃（ゆの）（佳之・美月）

おくやみ

（　）内は享年

萩田　横島リヨ（90歳）
本町　瀧澤哲男（83歳）
貝喰　吉田富太郎（92歳）
下河南　中野カツエ（90歳）
高清水　古舘勝男（79歳）
下新町　早川孫六（80歳）
駒板　川向イワ（87歳）
小玉川　小野寺フジノ（76歳）
沢田　山下辰巳（85歳）
竹谷袋　山野下ヒサ（73歳）
蜂ケ塚　山下清五郎（84歳）
上尾田　中里辰見（82歳）
山口　水上政吉（91歳）
下円子下　小林スミ（97歳）
荒町　前田喜一（93歳）
下野場　紫葉トキ（84歳）
河北　山本アキ（78歳）
山内大久保　山野内富義（88歳）

お詫びと訂正

広報かるまい平成27年３月号において、冠婚葬祭欄に一部記載漏れがありました。今月号に掲載し、お詫びいたします。

●人の動き　＜平成27年２月28日現在／町民生活課調べ＞

男　4,852人（－９）／女　5,079人（－15）

合計　9,931人（－24）／世帯数　3,770（－７）

※（　）は前月比

転入　７人（15人）／転出　15人（29人）

出生　３人（11人）／死亡　19人（29人）

※（　）は１月からの累計

※広報誌内において、お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

ほっとひといき／編集後記

山内保育園、観音林児童館、晴高児童館、３施設が揃って幕を下ろしました。20数年ぶりに自分の通った児童館に入ると、毎日楽しく遊んだ日々を思い出しました。寂しい気持ちもありますが、晴山保育園での新たな歴史が始まります。

さて、４月からも広報担当は変わらず私が務めます。引き続きのご支援と、取材を通じての新たな出会い、その両方に期待を込め、初心に帰って一年前と同じ挨拶を。今まで同様お世話になる方、これから新しくお世話になる方、よろしくお願いします！（小笠原）

発行／岩手県軽米町
〒028-6302　九戸郡軽米町大字軽米10-85
編集／総務課
電話　0195-46-2111（代）
FAX　0195-46-2335
ホームページ　http://www.townkarumaiwate.jp/